

第 52 回 日本補体学会学術集会の開催にあたって

第 52 回日本補体学会学術集会 集会長

水野 正司

名古屋大学大学院医学系研究科

第 52 回日本補体学会学術集会開催の大役を仰せつかり、来る平成 27 年 8 月 21 日、22 日の両日に、名古屋大学医学部附属病院において開催するための準備を現在進めております。去る第 51 回補体シンポジウムで、補体研究会は日本補体学会として新たなスタートを切ることが全会一致で決定されました。開催回数は引き続き継承されますが、集会の名称もこれまで慣れ親しんだ「補体シンポジウム」から「日本補体学会学術集会」と新たに開催することとなり、その記念すべき初回の学術集会を名古屋で開催できることは、真に光栄なことだと思っております。

詳しいプログラムについては現在考案中ではありますが、招待講演には前 International complement society 会長の B. Paul Morgan 先生（カーディフ大学、UK）をお招きして御講演いただく予定で進めています。Morgan 先生は私の留学中の恩師であり、現在も共同研究を行っています。研究領域は広いので、どのような内容でお話していただくかも含めてこれから調節していく予定です。ランチョンセミナー、特別講演の他、臨床系のテーマでワークショップ（もしくはシンポジウム）を企画したいと考えています。

近年、C1 インヒビター、C5 抗体と、ヒトに応用できる抗補体薬が臨床で使用されるようになり、以前と比べて、より補体が注目される様になってきたのではないかと思います。これを機会に、「補体を、今こそ主体へ！」とアピールできる会にしていきたいと考えております。このため、抗補体薬治療を行った臨床症例の報告なども積極的に取り入れていき

たいと考えています。

懇親会は、第 51 回補体シンポジウムの準備状況の報告の際に話しましたように、名古屋めしを盛り込んだ内容にできれば、と企画しておりますので、本会参加と共に是非ご参加ください。

一般演題の募集に関して、雑誌の印刷・編集の関係で平成 27 年 7 月 1 日までの登録をお願いします。また、学会誌「補体」への寄稿についても同時に募集しております。第 52 回日本補体学会学術集会に合わせて発行予定の Vol. 52 (No.2) と、次回金沢で開催予定の International Complement Workshop に合わせて刊行予定の Vol. 53 について、他の雑誌に



The Japanese Association for Complement Research
The 52nd Japanese Complement Meeting

第52回 日本補体学会 学術集会

2015年8月21日(金)~22日(土)
名古屋大学医学部附属病院
中央診療棟3F講堂

招待講演 B. Paul Morgan (Cardiff University)
Complotype and disease susceptibility (仮題)
特別講演 未定、シンポジウム 未定
ランチョンセミナー 未定

抄録提出締め切りは、
平成27年6月24日(必着)です

抄録送付先
連絡先：名古屋大学大学院医学系研究科
腎不全総合治療学専攻講座
第52回日本補体学会学術集会連会長
水野 正司
(事務 加藤 恵子)
名古屋市昭和区鶴舞町65
tel/fax (052)744-2205
E-mail: mmizu@med.nagoya-u.ac.jp,
or nagoya2-pd@med.nagoya-u.ac.jp

投稿されていない（著作権の発生していない）原稿で、総説、原著、症例報告、研究室紹介など、を募集しております。

この様な学術集会の運営は初めてのため何かと至らぬ点が多いかと思いますが、補体学会がより大きな規模の学会に発展するのに少しでも役に立てるように、誠心誠意頑張って、学術集会開催の準備を進めていきたいと考えております。皆様には、ご指導いただきますと共に、多数の演題の応募、当日御参加いただきます様に、ご支援、ご協力のほど何卒よろしくお願いいたします。

尚、学会の（A）開催のご案内と演題募集要項と、（B）学会誌「補体」Vol. 52 (No.2)、Vol. 53 への原稿については以下の通りです。

（A） 第52回日本補体学会学術集会 開催案内と演題募集について

開催については、現在までに決まっていることを「第52回補体学会学術集会開催のご案内」に掲載しました。御参照ください。また、学術集会の抄録原稿の詳しい作成方法については、例年通りで「補体学会学術集会抄録作成および送付要項」と抄録の「見本」を参考に作成をお願いいたします。

（B） 学会誌「補体」Vol. 52 (No.2)、Vol. 53 への投稿のお願い

補体研究会が日本補体学会として活動を始めるのと同時に、学会誌「補体」の定期的刊行も始まりました。こちらから、直接依頼する原稿の他に、会員の皆様には、是非、総説、原著、症例報告、研究室の近況報告など、著作権の発生していない内容での寄稿をお願いいたします。

投稿規程ですが、上記（A）の学会抄録に準じ

て作成していただきたいと思います。総説、原著、症例報告につきましては、学会抄録と同様に、英語のタイトル、著者名、所属の併記をよろしくお願いいたします。原稿の長さには特に制限を設けません。また、補体学会会員の皆様からの投稿の場合、当方からの依頼原稿につきましては、掲載料は発生しません。原稿は、原則白黒でいただきたいと思いますが、カラーページが必要な場合にはご相談に乗りますので、あらかじめ、当方に御連絡いただきたいと思います。頂いた原稿につきましては、雑誌の統一を図るために手を加える場合がありますが、元原稿を尊重し、基本的にはそのまま掲載することを考えています。ただ、内容によっては、学会理事の先生方と相談の上、著者の先生方に、加筆修正のお願いする場合がありますので、よろしくお願いいたします。

Vol. 52 (No.2) への投稿の締め切りは平成 27 年 4 月末、Vol. 53 への投稿の締め切りは、平成 28 年 3 月末とさせていただきます。

第 52 回日本補体学会学術集会についてのお問い合わせ、およびに学会誌「補体」Vol. 52 (No.2)、Vol. 53 のお問い合わせは、下記までお願いいたします。

名古屋大学大学院大学医学系研究科 腎不全総合治療学寄附講座

（平成 27 年 2 月 1 日より、腎不全システム治療学寄附講座 に名称が変更になります。）

水野 正司

（事務 加藤 恵子）

Tel/Fax: (052) 744-2205

E-mail: mmizu@med.nagoya-u.ac.jp (水野)、または、nagoya2-pd@med.nagoya-u.ac.jp (加藤)